

BR-210(STANDING WAVE ANALYZER) ホームページ用説明書

概要

スタンディングウェーブアナライザ BR-210は、アンテナ回路のSWR、インピーダンス、共振周波数などを測定する機器です。

測定に必要なRF発振器、SWR計、インピーダンスブリッジなどを本機の中に装備していますから、簡単な操作で正確な測定ができます。

HF～VHFバンドのさまざまなアンテナ回路の自作や調整に威力を発揮します。

測定に使用する信号は微弱電力で電波法に触れないため、アンテナ調整用として使用しても他局に妨害を与える心配が少ない。

ハンディタイプで持ち運びに便利なため、屋根の上やタワー上のような高所での調整作業も安全に行えます。

広帯域の信号源として受信機やアンプなどの調整用或いは各種実験用に活用できます。

主な特徴

1.8～170MHz広帯域RF発振器を内蔵していますから測定範囲が広い。

内蔵の周波数カウンタにより測定周波数が直読できる。

本格的トートバンド方式のメータを採用。(YOKOGAWA)

針摩擦がないため高感度で指示誤差が少ない。

付属の50 標準ダミーロード(M形)で本機の動作チェックが簡単に行えます。

アルカリ乾電池で14時間以上の連続使用が可能。

電池の消耗をお知らせする機能として、カウンタの小数点が点滅します。

小型軽量で持ち運びに便利。電池装着時 約900g

仕様

発振及び測定部

RF発振周波数	1.8～170MHz	6レンジ切替
	連続可変	
発振出力	約0dBm(1mW)	
SWR測定	1:1～	
インピーダンス測定	1.8～170MHz/ 12.5～300	M形(MR-50A)

カウンタ部

表示方式	6デジット7セグメントLED
周波数分解能	1kHz(FAST) 100Hz(SLOW)

一般

電源	電池使用時 単3型乾電池 6本(9V)
	外部電源 8～12VDC
寸法	80 X 177 X 60mm
重量	約900g(電池装着時)
付属品	50 標準ダミーロード(M形) / 耐入力:500mW 外部電源用プラグ付DCコード

電源について

BR-210の電源は、単3型乾電池 6本(9V)又は外部の安定化電源のどちらでも使用できます。

外部電源を使用するときは、付属のDCコード(プラグ付赤黒コード)で本機の外部電源入力端子に接続してください。赤がプラス、黒がマイナスです。

外部電源は8～12Vの間で200mA以上出力できるものをご使用ください。

プラグを本機の外部電源入力端子に接続すると、電池からの電源供給は自動的にカットされますので電池を入れたままでも心配ありません。

注意

付属品以外のDCコードを使用される場合は、センターがプラスであることを必ずご確認ください。

また定格外の電源を使用されますと、正確に動作しないばかりでなく故障の原因にもなりますのでご使用前に必ずご確認ください。

電池を使用する場合は、単3型乾電池(SUM-3)を6本使用します。

電池の入れ方は、背面下部のネジをゆるめて電池ボックスのフタを外します。

次に電池ケースの(+)(-)の表示に従って電池をセットしてフタを閉めてください。

長時間お使いの場合は、アルカリ電池(LR6)の使用をお勧めします。

アルカリ電池の場合、14時間以上の連続使用が可能になります。

電圧低下の表示

電池の電圧が低下するとカウンタの小数点が点滅を始めます。点滅開始後20～30分で指示に誤差が出てきますので、早めに新しい電池に交換してください。

注意

長時間ご使用されない場合は、電池を抜いてください。入れたままにされますと、液漏れなどのより故障の原因になります。